

くらし・福祉を
ささえるまちへ



子育て応援します



北野のり子だより

*議員団控室 Tel740-1811

*日本共産党川西市委員会

川西市平野2-1-3

Tel792-2164

北野のり子の活動をお知らせ
しています。

9月議会の報告

8月29日～9月26日の29日間、9月定例議会が開催され9月6日、一般質問を行いました。主な内容の一部についてご報告します。

地域を元気にする中小業者支援について

市内中小業者の資金繰り支援を拡充するべきではないか

Q 中小業者にとって命綱ともいえる資金繰りを公的に保障する制度として大きな役割を果たしているのが市の中小企業融資あっせん事業です。金融機関の調達金利は、ゼロに近いことから現在の金利（現在1.375%～2.0%）を軽減するべきです。加えて貸し出しを受ける条件の「税金完納」について、政府は、交渉の場で「税金を滞納しているということだけをもって融資しないこととはならない」との回答が繰り返し返されておられ、「税金の完納」条件自体が制度融資の趣旨にそぐわないことは明らかではないか。

A できるだけ低利で貸すことがいいと思うが、県の融資等のバランスもあるので、他市の例を見ながら見直す必要がある、見直せる程度かについては一度考えてみたい。また、融資を受けるには税金の完納が条件である。政府との交渉については知らなかったので調べる。



住宅リフォーム助成制度へ一歩前進だね。

住宅リフォーム助成制度の創設を

Q これまで市は、「住宅リフォーム助成制度は、公平性の観点や経済波及効果についても一時的な効果、抜本的な解決につながらない」という理由で創設しないと明言。しかし、現在全国で562自治体、県内14自治体が実施し、地域経済対策として威力を發揮している。地元の中業者の仕事をこしはもちろんのこと住環境の整備、長寿命化等の観点からも同制度を創設するべきではないか。

A 制度の目的を何におくのが論点になる。今回、環境整備、長寿命化の観点、住宅融通を速やかにさせるリフォームの助成等々、目的を多岐に渡ったような制度内容をもって各自自治体において助成制度が創設されているという経過は、おそらく大きな広がりになっていく根拠だと思っている。どういう目的でもってこのリフォーム助成制度をできるのか、できないのかを大きな観点から考えてみたい。具体的に検討を進めてまいりたい。

アステ川西6階フロア改修費用 2億4900万円!

議案では、「多機能型市民サービスセンター整備工事請負契約の締結について」、総務生活常任委員会に付託され、日本共産党議員団は反対しました。9月26日の最終本会議では、住田議員が反対討論を行いました。結果、日本共産党議員団3名、無所属議員1名のみの反対となり賛成多数で可決しました。

6月議会では、赤字経営のアステ川西6階フロアを3億300万円で購入することが賛成多数で可決。9月議会では、市民活動スペースの貸し出し、住民票等証明書の交付や各種行政案内、市民相談や健康相談、市民ギャラリー、災害時の一時避難所としての活用するために整備改修工事の請負契約2億4900万円の締結について上程。

現在、市では「川西市アステ市民プラザ」の設置及び管理に関する条例（案）要綱に対する市民のみなさんからパブリックコメントを募集中です。（10月20日まで）

市は、アステ川西管理会社（川西都市開発株式会社）に対して、「市の玄関口であるアステ川西をつぶすことはできない」とし、5億円の長期貸付をはじめ地下リニューアル資金確保の支援（損失補償）や共益費の補助金・等、支援を実施。こうしたことが、市の財政状況を困難にする要因の一つになっています。市民の税金は市民が本当に必要とすることに使うべきではないでしょうか。

